

創造へ、そして失敗

ここにその妹（いも）伊耶那美の命に問ひたまひしく、「汝（な）が身はいかに成れる」と問ひたまへば、答へたまはく、「吾が身は成り成りて、成り合はぬところ一処（ひとところ）あり」とまをしたまひき。ここに伊耶那岐の命詔りたまひしく、「我が身は成り成りて、成り余れるところ一処あり。故（かれ）この吾が身の成り余れる処を、汝（な）が身の成り合わぬ処に刺（さ）し塞（ふた）ぎて、国土（くに）生みなさむと思ふはいかに」とのりたまへば、伊耶那美の命答へたまはく、「しか善けむ」とまをしたまひき。ここに伊耶那岐の命詔りたまひしく、「然らば吾と汝と、この天之御柱を行き廻り逢ひて、美斗（みと）の麻具波比（まぐはひ）せむ」とのりたまひき。かく期（ちぎ）りて、すなはち詔りたまひしく、「汝は右より廻り逢へ。我は左より廻り逢はむ」とのりたまひて、約（ちぎ）り竟（を）へて廻りたまふ時に、伊耶那美の命まづ「あなにやし、えをとこを」とのりたまひ、後に伊耶那岐の命「あなにやし、え娘子（をとめ）を」とのりたまひき。おのもおのものりたまひ竟（を）へて後に、その妹に告りたまひしく、「女人（おみな）先だち言へるはふさはず」とのりたまひき。然れども隠処（くみど）に興（おこ）して子水蛭子（みこひるこ）を生みたまひき。この子は葦船（あしぶね）に入れて流し去（や）りつ。次に淡島を生みたまひき。こも子の数（かず）に入らず。